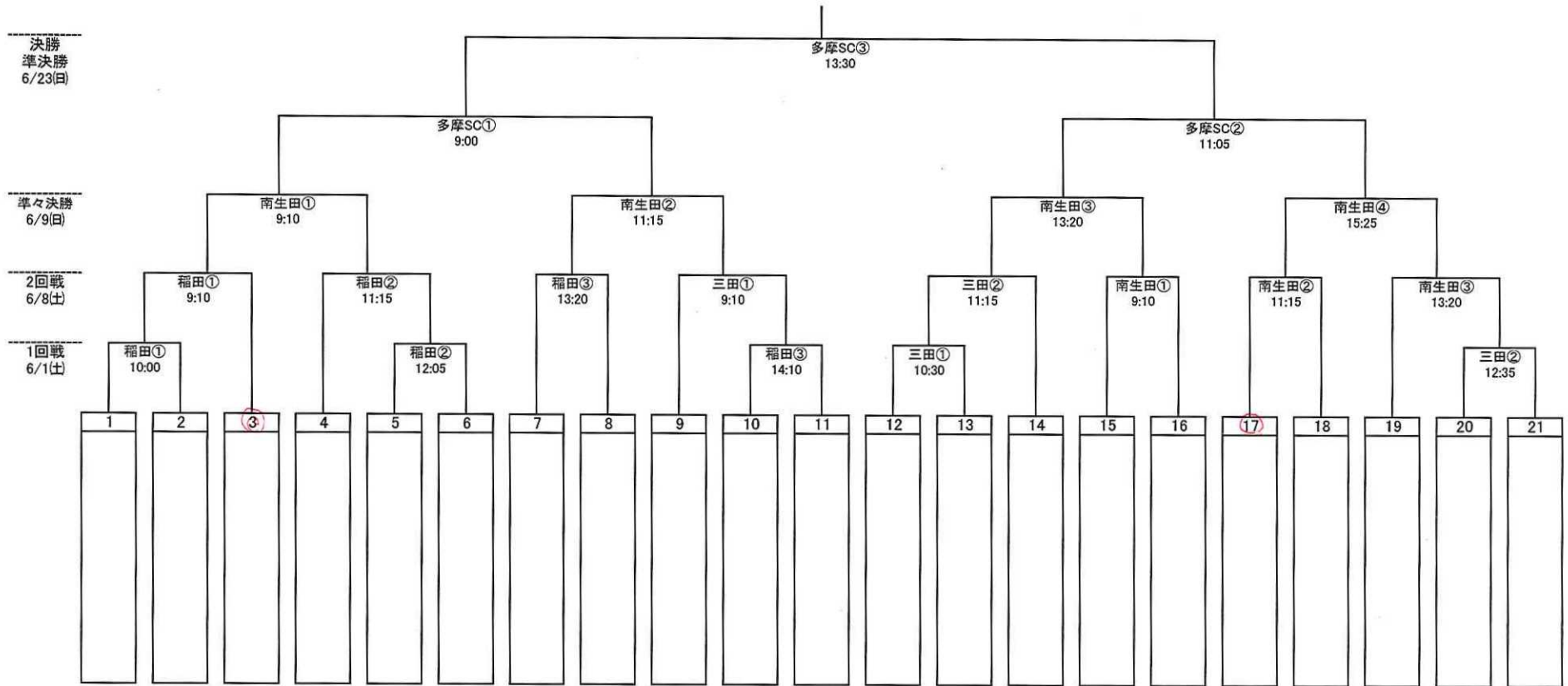


令和元年度 第17回 多摩区子ども会連合会少年野球大会 組合せ



- ・ 大会予備日: 6月2日(日)・15日(土)・16日(日)
- ・ チーム番号の小さい方が一塁側ベンチ
- ・ 試合日時・球場は、天候や学校行事等により変更する場合があります。
- ・ 試合中止の場合のみ各チーム監督へ連絡します。午前7時頃。

【チーム付き審判の割当】

(一球場において)

2試合の場合 = 2-1
 3試合の場合 = 3-1-2
 4試合の場合 = 2-1-4-3

※ 準決勝・決勝戦 = チーム付き審判なし

6/1 開会式 8:30 受付
 稲田 9:00 開始 → 雨天中止 6/2 13:30 ~ 試合は 6/8
 開会式のみ

多摩区子ども会連合会野球大会規則

【大会運営に関する事項】

本大会の競技は、当該年度もしくは至近に発行された「公認野球規則」・「(財)全日本軟式野球連盟の競技者必携」を適用し、さらに【大会・競技に関する取決め事項として】以下の細則を多摩区子ども会連合会（以下、多摩区子連）の体育委員会が発議し、多摩区子連会議の了承を経て施行される。

1. チームの編成

本大会は多摩区子連に所属する子ども会野球チームがトーナメント方式で実施する。チームは成人である責任者（育成会会長またはその代理）とユニフォーム着用の監督（背番号30）・コーチ（同29・28）に加えスコアラー、マネージャーの計6名以内、選手は0～99の背番号を付ける。主将は10番とする。選手は10名以上20名以内でなければならない。

2. 参加資格

チームは単位子ども会で組織され、(社)全国子ども会連合会「全国子ども会安全会共済会川崎支部」に加入していること。各個人は安全会番号が取得されていなければならない。したがって体育委員は人員変更や追加が安易になされないよう大会登録用紙との照合を確実にを行うこと。本大会出場に際し単位子ども会を分割しての参加は認められない。

行政と学区、居住地の関係から安全会登録が複数の単位子ども会番号でされていても、同一チーム員として競技している場合は多摩区子連会長の責任においてこれを認める。

3. 監督主将会議

監督主将会議には、監督と主将が出席すること。出席できない場合は代理を立てること。監督主将会議では次のことを行う。監督もしくはその代理人は、会議で決められた事項はチーム全員に必ず徹底させること。

- ① 大会運営に係る注意事項の確認
- ② 組合せ抽選会
- ③ その他

4. 大会特別規則

- ① 試合は7回戦とし、試合開始の「プレイ」宣告後、1時間30分を経過したら、そのイニングが最終回とする。決められた時間が経過したら、回数に関係なく正式試合とする。

【競技運営に関する事項】

1. 集合と攻守決定

その日の第1試合は試合開始予定時間の60分前までに、第2試合以降は前の試合の4回終了時までには打順表を4通(登録された全員を記入し、必ずふりがなを付けたもの)を監督と主将が大会本部に提出し、登録名簿と照合ののち、球審立会いのもとに攻守を決定する。(注:前の試合が早く終了した場合は、次の試合開始予定時刻前に開始することがあるので、試合開始予定時刻の30分前には球場に到着して前の試合経過を注視する。)

2. ベンチは組合せ番号の若いチームを一塁側とする。

ベンチに入れるのは、登録された成人6名(監督、コーチ(2名)、マネージャー、スコアラー、チーム代表)及び選手20名以内に加えて、水分補給を補助するための要員2名を認める。その要員はチーム帽子を着用すること。なお、ベンチに入る人員は全て安全会共済会川崎支部に加入していること。

ベンチ内では電子機器類(携帯電話、スマートホン、タブレット等)、携帯マイクの使用を禁止する。なお、メガホンはベンチ内で1個に限り使用ができる。

3. 使用球と用具・装具

- ① 大会使用球は連盟公認のJ号ボールとし、大会本部で準備する。
- ② チームのユニフォーム、アンダーシャツ等は同色、同形、同意匠のものを使用すること。但し、スパイクの色は自由とし全員同色でなくてもよい。金属のついたスパイクは使用不可。なお、裾幅の広いストレートタイプのユニフォームは、監督・コーチも含めて着用を禁止する。
- ③ バットについて、金属・ハイコンバットは連盟公認のJSBBマークが付いたものを使用すること。
- ④ 捕手の装具は、連盟公認のマスク、ヘルメット、プロテクター、レガースを使用すること。
- ⑤ 打者、次打者、走者、ベースコーチ、ボールボーイは連盟公認のイヤーフリップ付きヘルメットを着用すること。

4. シートノックは最大5分間とし、補助員としてコーチ(背番号28・29)も入ることができる。大会運営上、シートノックを行わず試合を開始することもある。

5. 試合前練習は外野に限り行うことができる。但し、フリーバッティングは禁止する。

6. 雨天による試合中止等は、大会本部と審判部の協議にて判断する。

- ⑪ 走者について
ファールボールが打たれた場合は速やかに戻って元の塁に触れること。
- ⑫ 内野手について
内野手が投手のところへ集まるときは駆け足で往復し、プレイの開始を遅らせないこと。
- ⑬ ベンチについて
ベンチから無用と思われるサインを送らないこと。

4. その他

- ① ネクストバッタースクールでの注意点
ネクストバッタースクールではスタンディングの姿勢で待ち、危険防止のためバットの素振りを禁止する。
- ② サングラスについて
サングラスは大会本部の承認なしに使用することができる。但し、帽子にサングラスを乗せることは禁止する。
- ③ グラウンドへの出入りについて
グラウンドへの出入り口は試合中封鎖し、関係者以外の入場を禁止する。また、関係者においても喫煙、その他無用の出入りは禁止する
- ④ ブルペンでの投球練習について
次の試合のバッテリーは、攻守決定ののち、進行中試合の5回が終了するか1時間が経過すればグラウンド内ブルペンで投球練習を行ってもよい。
- ⑤ 会場周辺の公園・空地では、バット・ボールを使う練習は行わない。
- ⑥ 自動車の駐車について
自動車の駐車は有料駐車場等を利用し、路上駐車で近隣に迷惑を掛けないこと。
- ⑦ ゴミ・空き瓶等は、会場や公園のゴミ箱に捨てずに各自持ち帰ること。
- ⑧ 大会期間中における傷害事故については、応急処置は行うが大会本部で責任は取らない。